

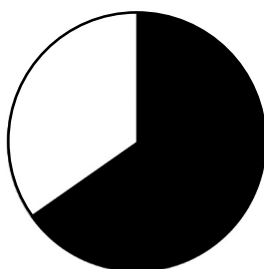
◆ふれあいまつりで防災まちづくり活動をPR！

パネル展示は、たくさんの方にご覧いただき、緊急避難扉の設置報告を指差して「この扉みたことある」とお話しいただくなど、防災に関心を持っていただいている様子をうかがい知ることができました。また、アンケートには、49名の方に回答いただくなど盛況でした。



Question 1 地震が起きた時に、倒壊等の不安はありますか？

いいえ
35%



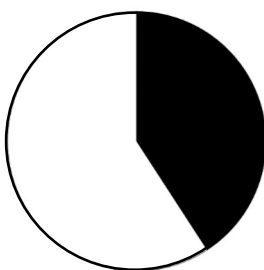
はい
65%

地震が起きた時に不安を感じる方が、65%と高い割合になっています。ご自宅の建設が昭和56年以前の方に限ると85%が不安を感じており、ご自宅が古いほど、建物の倒壊に不安を感じる方が多いことが分かります。

細い道が多いことに不安を感じている方もいらっしゃいました。

Question 2 ご自宅は昭和56年以前に建てられましたか？

いいえ
59%



はい
41%

ご自宅の建設が昭和56年以前の方が41%という結果になりました。「はい」と答えていただいた方には、耐震診断に関するパンフレットを配布し、「まずは診断から」と呼びかけました。

「はい」と答えた方の中にも、「耐震改修済」の方も2名いらっしゃいました。

◆ご自宅も健康診断！“耐震診断”を受けてみましょう！

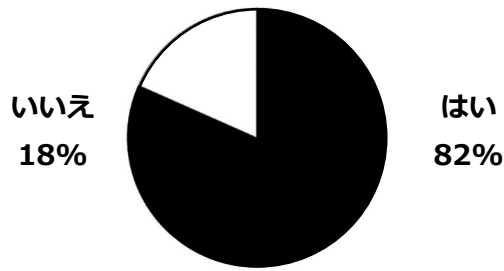
京都市から派遣された専門家が、無料で耐震診断を行います。はがきを投函するだけで簡単に申し込むことができます。まずはセンターまでお気軽にお問い合わせください。

申込期限：平成30年1月30日（火）

申込方法：区役所等で配布している申込はがきに必要事項を記入して投函してください。

お問い合わせ先：京都市住宅供給公社 京(みやこ)安心すまいセンター
Tel075-744-1631 午前9時30分～午後5時
(水曜、祝日、年末年始は休み)

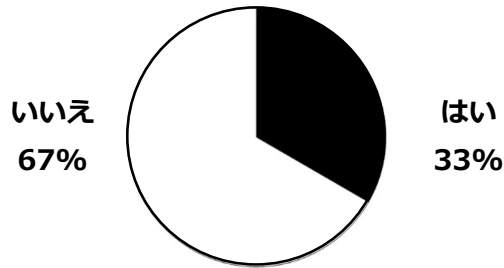
Question 3 お住まいの町の「地域集合場所」をご存じですか？



82%の方がお住まいの町の「地域集合場所」をご存じという高い結果になりました。イラストを見て「この表示板見たことある！」というお子様の声もあり、昨年度の取組が成果に繋がっていることを実感しました。

「いいえ」と答えた方については、「防災まちづくりマップ」で、場所を確認しました。

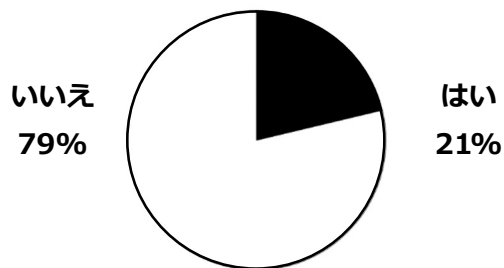
Question 4 自宅から「地域集合場所」までの経路に危険なところはありませんか？



自宅から「地域集合場所」までの経路に危険なところがある方は33%でした。

「植木やプランターが乱雑に置かれている」というご意見が多く、「袋路や細い道で地震が起きたら塞がれてしまうかも」といったご不安の声もありました。

Question 5 災害時の町内の集合場所の周りに危険なものはありますか？



地域集合場所の周りに危険なものがあると答えた方は21%と、比較的安全な町が多いことが分かりましたが、逆にいうと、21%の方は危険に感じているということです。

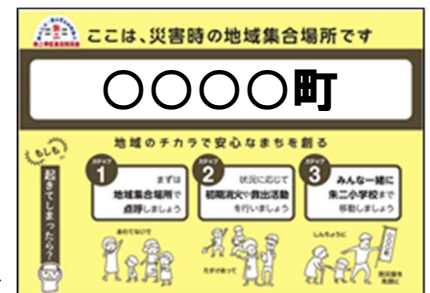
今一度、各町で「地域集合場所」の安全性を確認しましょう。

◆ご自宅回りや地域集合場所の安全確認をしましょう！

ご自宅回りや地域集合場所の付近に、植木鉢やプランター、自転車等が乱雑に置かれていると、地震時等の避難の際に通行の支障となり、安全な避難の妨げになるおそれがあります。

普段から整理整頓されていると、いざという時だけでなく、日頃の気持ち良い暮らしにも繋がります。

ご自宅回りや地域集合場所の付近の倒壊しそうなブロック塀、空き家などにも注意しながら、わが町の点検をしてみましょう。



◆取替え時期を迎えていませんか？

住宅用火災警報器 本体の寿命は、おおむね10年です！

朱二学区では、平成19年から平成23年に掛けて、住宅用火災警報器をあっせん販売しました。その際に設置いただいた警報器が更新時期を迎えますので、この度、改めて学区であっせん販売（2,500円/個）を行います。別途周知しますので、ぜひご利用ください。

古くなると電子部品の寿命や電池切れなどによって、火災を感知しなくなることがあります。
設置後、おおむね10年を目安に交換することをお勧めします！

ご自宅の火災警報器の「交換期限」を確認しましょう。
「自動試験機能付」のものは、機能等の寿命を迎えるとブザーや音声で知らせます。

